



地域支えあいニュース

第7号

発行日 平成29年3月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム

(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812

E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

(仮称)上土棚地区第2層協議体発足！！

綾瀬市で2番目となる第2層協議体が、上土棚地区（会場：特別養護老人ホーム泉正園）にて平成29年3月26日（日）発足しました。

新しい支え合いの仕組みを作ることを目的に取り組んでいく、この“生活支援体制整備事業”については、「既存の活動（特に自治会、地区社協、民生委員等）との違いがわからない」「また新たな組織をつくるのか？」との意見が、この取り組みを始めたころにはたくさん寄せられました。しかし、勉強会を重ね、発足に至る頃には皆さんが発想を転換し、自分達ができることを考えて「新しい支え合いの仕組みを作っていこう」という熱い思いを感じるできるようになりました。



拍手で発足を確認しました

上土棚地区の発足式では、前野永年さん（民生委員）が座長になり進行しました。

まずは今後の活動をどうするかを検討し、毎月定期的にこの集まりを持つことが確認されました。

今後話し合いたい地域課題については、これから具体的に考えていくこととなりますが、参加された皆さんからは「避難行動要支援者登録制度対象者の増加により“災害時あんしん袋”を配ってくれる人員が不足していて、地区社協も民生委員も負担が大きくなっている」「高齢者のゴミ捨ての問題がある」「高層階に住んでいるお年寄りの支援をどうしたらよいか」「ひとり暮らしをしている男性を外に出すことが必要」などの意見が出されました。それに対して「小学校と連携して子どもたちに災害時あんしん袋を配布をしてもらったらどうだろう」「登校時に子どもたちがゴミ捨てを手伝ってもらえないだろうか」「プラザとの連携を図り、子どもだけでなく高齢者の集いの場として活用できないか」など、地域課題の解決を図るため“子ども”を貴重な人材と捉えて考えていこうという一つの方向性も見えてきました。



他にもたくさんの課題があると思いますが、既存の団体や施設にとらわれず、「住みよい地域を作っていこう」という意識の高い皆さんの意見に、これからの取り組みがとても楽しみになってきました。

今後の予定

(仮称)吉岡地区第2層協議体発足式 平成29年4月6日(木) ※各協議体の正式な名称は今後検討します。